

はじめに

大津市では、平成 19 年 3 月に計画期間を 10 年間とする第 2 期都市計画マスタープランを策定し、長期的な視点に立ったまちづくりを進めてまいりました。

その間、人口が順調に増加を続けてきた大津市も、今やこれまで経験したことのない人口減少社会への分岐点を迎えようとしています。少子高齢化もさらに進行する中で、今後の超高齢社会・人口減少社会に対応していくためには、市民全員で危機感を共有し、新たな視点を持って、将来にわたって持続可能なまちづくりに取り組んでいくことが求められます。

このような背景のもと、大津市の上位計画である大津市総合計画基本構想、大津市国土利用計画等と整合を図るとともに、市民の皆様のご意見を反映させた今後 15 年間の都市計画に関する基本的な方針となる「大津市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

この転換期に策定したマスタープランでは、将来都市構造を「コンパクト+ネットワーク」によるまちづくりとし、誰もが安全・安心・快適に住み続けられるコンパクトなまちづくりを進めてまいります。

マスタープランの目指すまちづくりにおいては、琵琶湖や比良・比叡の山々をはじめとする自然と、667 年に近江大津宮が開かれて以来積み重ねて来た古都としての歴史・文化を生かすとともに、行政だけではなく、市民や事業者の皆様との協働のもと、住み続けたいまち大津の実現に向けて、一歩一歩、着実に取り組んでまいりたいと考えています。

結びとなりますが、本マスタープランの策定にあたり、アンケート調査・パブリックコメント等により貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様、まちづくりフォーラム・まちづくり会議に参加されました市民の皆様、マスタープランの策定にあたり多大なるご尽力を賜りました大津市都市計画マスタープラン案策定専門部会をはじめ、関係団体の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成 29 年 3 月

大津市長 **越 直 美**

